

## 3. 2 小学校3・4年生（2－1） 指導の概略

### Ⅱ. 対処行動を知る B. 津波からの避難方法を知る

指導する学年	小学校3年生	指導する時間	特別活動 (学級活動)	指導する時数	1 / 7 時間
目 標	地震や津波の恐ろしさを知り、津波から命を守るためにはどのようなことが必要なのかについて関心をもつ。				
使用する資料	【動画-01】2004年インド洋津波(海岸到達の様子) 【写真-02】1933年昭和三陸地震津波による釜石市の被災 【写真-12】津波避難ビルの例 【資料-11】津波に関する標識 【print-221】津波避難方法等				

#### 1. 導入

(1) 津波に関する動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージをもつ。

【動画-01】2004年インド洋津波(海岸到達の様子)[2:10] ※津波！命を救った稲むらの火の代用

(2) 学習課題を把握する。

#### 2. 展開

(1) 過去の津波による釜石の被災の様子を見せて、近い将来、釜石に津波が来る可能性が高いことを復習する。

【写真-02】1933年昭和三陸地震津波による釜石市の被害

(2) 動画の感想を子どもたちに問いながら、津波についての知識の有無が命を左右したことをおさえる。

(3) 津波から命を守るためには、知識としてどのようなことが必要か考える。

①どのように避難すればいいのかな？(避難の方法)

②どこに避難すればいいのかな？(避難場所)

(4) 避難場所に関する知識として、標識を紹介する。

【資料-11】津波に関する標識

【写真-12】津波避難ビルの例

#### 3. まとめ

(1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-221】津波避難方法等

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

(3) 次時までには、自分の住んでいる地域の避難場所を調べてくることを伝える。

#### 4. 確認

(1) 津波から身を守るためには、避難方法や避難場所を知る必要があることを理解することができたか？

関連する  
教科・行事等

【小3社会科】1 ◎もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

## 3. 2 小学校3・4年生（2－1） 指導の注意点

### 1. 導入

- (1) 津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージをもつ。  
→津波が襲来した際に、身を守るためには何をしたらよいのかを考える
- (2) 学習課題を把握する。



【動画-01】[2:10]  
2004年インド洋津波(海岸到達の様子)

### 2. 展開

- (1) 過去の津波による釜石の被災の様子を見せて、近い将来、釜石に津波が来る可能性が高いことを復習する。

→多くの犠牲者がでた地震や津波が釜石に襲来してきたことを確認する(釜石市の犠牲者数は以下の通り)

- ・1896年(明治29年)明治三陸沖地震 約6,700人
- ・1933年(昭和 8年)昭和三陸沖地震 約400人
- ・1952年(昭和27年)十勝沖地震
- ・1960年(昭和35年)チリ地震

→過去にあったような大きな地震や津波が近い将来、再び釜石に襲ってくることを確認する

- ・宮城県沖地震 今後30年で99%の確率で発生



【写真-02】1933年  
昭和三陸地震津波による釜石市の被害

- (2) 動画の感想を子どもたちに問いながら、津波についての知識の有無が命を左右したことをおさえる。

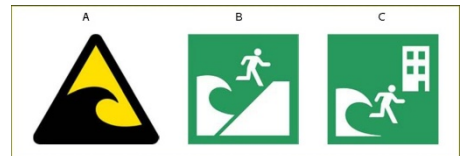
→「どのようにすれば津波から命を守れるのだろうか」という課題意識を持たせる。

- (3) 津波から命を守るためには、知識としてどのようなことが必要か考える。

- ①どのように避難すればよいか？(避難の方法)
- ②どこに避難すればよいか？(避難場所)

- (4) 避難場所に関する知識として、標識を紹介する。

→左:津波注意 中:津波避難場所 右:津波避難ビル  
→津波避難ビルの標識がある場所の例として、宝来館を紹介



【資料-11】  
津波に関する標識



【写真-12】  
津波避難ビルの例

### 3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。  
→津波から身を守るためには、どんな場所に避難すべきかを知る必要があることをおさえる
- (3) 次時までには、自分の住んでいる地域の避難場所を調べてくることを伝える。  
→家族に聞いたり、地図を見たりするなどの調べる方法を教え、わからなかったということがないように注意する